

第1回 諏訪市 ICT 教育推進協議会記録

課所名

教育総務課

会議名 第1回 諏訪市 ICT 教育推進協議会

開催日時 令和4年5月31日(火) 午後16時00分～17時27分

開催場所 諏訪市役所 501会議室

出席者 会長:五味 康剛、副会長:伊藤靖徳 (敬称略)
委員:三輪晋一、宮尾昭広、河西一樹、飯野敏行、北川大貴、伊藤正敏、茅野純子
(欠席者) 2名 尾崎剛、神谷慎介
事務局:細野教育次長、小林教育総務課長、森教育企画係長、藤森主任、岩波指導主事
(傍聴者) 1名

資料 ◇配布資料
No.1 諏訪市 ICT 推進協議会委員名簿
No.2 前回協議会以降の ICT 教育に係る動向について
No.3 諏訪市小中学校タブレットの活用について
No.4 今年度の展開について

協議議題(内容)及び会議結果(要旨)

1 開会(教育総務課長)

2 教育長あいさつ

昨年度様々な角度から議論いただき、ICT 教育推進計画が策定された。今年度から令和8年度までの5年間計画に基づいた取り組みを推進していきたい。

学びのツールとしてタブレットが整備されたが、振り返ってみるとこれまでも様々なものが導入されてきたが成功したものもあれば根付かなかったものもある。例えば、LL 教室というものが導入されたことがあった。教室の中にヘッドホンセットなどが導入されたがあまり活用されなかった。視聴覚教室も視聴覚の目的に使われることがあまりないまま別の教室に転用されるケースも出てきている。

今回の ICT がツールとして位置づくには丁寧な取り組みが必要。学校や教員によって差が出るのではなく、みんながツールとして使えるようになることが重要。

協議会の皆様には計画に基づく取り組みがどうなっているのか実施状況と効果を検証いただきたい。1年間よろしくをお願いします。

3 委嘱状交付(3名に交付)

4 自己紹介(資料No1)

5 協議

(1) 前回協議会以降の ICT 教育に関わる動向について

【事務局より説明】(資料No2)

(2) 諏訪市小中学校タブレット活用について

【事務局より説明】(資料 No3)

会長:非常に中身の濃い説明ありがとうございました。

委員:タブレットを持ち帰って繋がるのですが、Teamsだけはじかれるといった事例がある。機器が接続できない家庭はほぼなかったのが課題はそこだけだと思ふ。

会長:今の意見は非常に重要でアプリが接続できないといった事例は結構ある。使えば使うほどこういう問題点が増えてくる。ICT 支援員が導入になったが学校ごといろいろ課題が出てくると思ふ。現場の先生の意見、情報等十分組みながら改善してもらいたい。

会長:先ほどの説明にプログラミングの話が出ましたが、諏訪市においてはスクラッチを使って進めてきた経緯があるが、今年 4 月に行われた全国学力量習状況調査において小学校 6 年生の算数の問題でプログラミングの問題が出題された。正に求められているのはスクラッチができればいいのかというのではなく、プログラミング的思考が身につけているのかということで早速文科省の方でも調査に加えてきたなと思ふ。是非そういう面も踏まえながら情報活用能力を育てていければいいのかなと思ふ。

(3)今年度の展開について

【事務局より説明】(資料 No4)

(4)質疑・意見交換

会長:ポータルサイトはまだ試作段階ということだが有効活用できるようになると様々な情報のデータバンクになるのかなと思ふ。セキュリティの問題はあるが、例えば先生方が作成した学習教材を共有できると他の先生が活用できる。先生方の働き方改革にも繋がる。非常に期待できる。今は事務局の担当者が進めてくれているが、いずれはみんなができるようにならないと途中で息切れしてしまう。

委員:ポータルサイトの件ですが、我々教員も HP を作ったりしているが、担当者の考え方が色濃く入ってくる。3 年毎に異動がある中でポータルサイトの運営は難しいのかなと思ふ。管理という場面では能力のある方がまとめていく場面になるのかなと思ふ。誰がどのように運営していくのを中心に継続的に考えていかないと難しい。例えば C4th(校務システム)の掲示板があるが、その掲示板すら見てくれないのが実情。素晴らしい取組みであるが故に継続していくとか先の事も考えて導入した方がいい。

私共も重い腰の教員のレベルを上げようとスタディノートの研修を始めることにした。

会長:現場にいる先生ならではのご意見だと思ふ。素晴らしい取組みでも短期で終わってしまうのは勿体ないと思ふ。長期的に継続して活用するにはどうしたらいいか考えていかなければならないと思ふ。

今年度の目標も定めていただいているが PDCA サイクルで取り組むのは非常に大事。数字で示されると大変に感じるが、現場の先生方の意見に合わせながら進めていただけたらと思ふ。

委員:アプリで欠席連絡を保護者から送っていただけたら C4th と連携できるものがあると聞いているが、市全体で導入になるのか。学校単位で導入するのか。

事務局:今年度については実証的な位置付けで数校が試験導入している。その様子を検証しながら他校にも推奨していければと思ふ。

委員:前年度まで上諏訪中に赴任していたので諏訪市の情報の関係も大体理解している。清陵中は持ち帰りを実施したり、クロムブックを活用している。セキュリティなどもこども達と考えながら実践している。

ポータルサイトの説明を受けたが、教員同士の共有であれば web サイトにする意義があるのかなと思ふ。

委員:いろいろな取組みは素晴らしいと思ふ。とにかく事例を増やすのは良い事だと思ふ。経験を踏むのが一番であるが、それに追われてしまうと先生方は大変だと思ふので、ちょっとしたことを電子化してみようという考えで少しずつ進んでいくのが大切だと思ふ。煽らず、先生方の自主性に任せつつ教育委員会や我々民間事業者も協力しながら進めて行ければいいなと思ふ。

ポータルサイトについてですが、民間も抱えている問題なので参考にさせていただければと思ふが、枠組みだと

か箱を作ることはできるが、みんなが登録するというのは習慣付けられないとできない。みんなが登録できるようになればそれを管理して整理していかないと使えないものになってしまう。古くて使えないデータは蓄積されてしまうとパフォーマンスが落ちてしまう。快適な環境で使い続けるためには情報の整理が必要。諏訪市のICTの取組みに応援していきたいと思う。

委員: 保護者の立場から本日の説明をお伺いしたが、本日初めて共有できた。コロナ過でタブレットが活用できたのは良かったと思う。学校での事例を拝見でき、教育現場は非常に進んできているなというのが実感。社会はだんだんデジタル化しているので、こども達もついて行かなければいけない。こどもたちが世の中で生きて行くために必要なことである。

副会長: 普通教室と特別支援学級に電子黒板を導入していただけるということで非常にありがたい。今までできなかったことができるようになる。タブレットの有効活用にも繋がる。

また、ICT支援員を配置していただいているが活かしきれしていない。有効活用できるよう職員間でも共有していきたい。

委員: 本校はすべてディスプレイ型の電子黒板を希望している。いろいろな面で活用できると思う。例えば書画カメラで手持ちの資料を画面に映すだけで一斉にひとつの情報を見ることができる。

諏訪市でいろいろな物資を揃えていただき非常にありがたい。いろいろ環境整備が進んでいるが、ICTは誰のために何のために使うのかを整理しないとイケない。タブレットはこどもたちの主体的、対話的深い学びのために使いたい。そのために教員はどうやって使わなければならないのか、使う方にも技量を持っている先生、持っていない先生がいるので少しずつレベルUPしていかなければならない。

実は本日とてもショッキングな出来事が学校であった。先生が変わったら授業がよくわからなくなったと訴えてきた生徒がいた。小学校のプログラミングでレベルを上げていただいたが、中学校の先生のレベルが少し追い付いていない部分もある。生徒の方が使いこなせる場合もある。こういう協議会で共有したり、アドバイスいただけることが非常に心強い。

委員: 経験がないことに取り組んで行くのでアイデアを出して、それについての課題を出して新しい形に挑戦していくのは非常に大事なことだと思う。ハードの進捗状況はある程度進んでいくが、ソフト面は徐々に進めていくのだけれども、お尻を叩くような進め方では問題がある。そうすると一定の目標設定がないといけないと思う。ある目標設定にみんな関わっていくやり方が必要感に応じた取組みができるのかなと思う。

例えば、昨年度県では「クラウド上で共同編集できるようになる。」という目標があった。その実施状況であるとか、達成できていないのならどうやっていけばいいのだろうかといった思考が重要。諏訪市の現状と目指すべき姿を考えると本年度はどの辺を目標にしていけばいいのかを次回あたりに提案、協議できればいいのかなと思う。次回引き続きよろしく申し上げます。

会長: ハードの環境は進んでいるが、タブレットの活用が2年目を迎えていくなにかが大切。先ほどお話しあったが小学校と中学校のギャップもある。諏訪市が力を入れている小中一貫教育を推進するためにもこの協議会でお話が出来ればと思う。

6 次回以降協議会の開催予定について

教育総務課長: 次回は8月23日(火)市役所で予定している。

7 その他

事務局: ICT推進協議会委員の皆様にはマイクロソフトのアカウントを付与して事務局からの情報提供を行う。Teams内で共有する。

8 閉会

教育次長:協議会を立ち上げて2年目になる。教育委員会が色々なことを進めていく上で最も大切にしていかなければならないことは、現場の先生方の想い、子どもたちの想い、それをきちんと掴んで事業化していく、予算化していくことが大事。ポータルサイトの件もそのような視点でお話させていただいた。

電子黒板とICT支援員については去年の段階で皆様方から必要であると意見としていただいたのでそれを実現させていただいた。

少しずつでも進めていかなければいけないので皆様方のご理解ご協力をいただきながら次回に向けて準備を進めてまいりたい。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

(17:27 終了)